設定は、別紙のIPアドレス表を埋めた後、

トポロジとアドレスを見ながら、実機またはPacket Tracerで実施してください。

（**Packet Tracerで実施する場合は、ルータを1941にする**）

■ ルータの基本設定

* ルータに以下の基本設定をする
  + ルータに名前を付ける（R0）
  + 特権モードのパスワードを設定する（パスワードは「execpass」）
  + コンソールのパスワードを設定する（パスワードは「conpass」）
  + 入力中のログ出力の抑制を設定する
  + 仮想回線（VTY）0～4をパスワード保護する（パスワードは「vtypass」）
  + 仮想回線のタイムアウトを5分に設定する
  + 平文パスワードを暗号化する
  + インターフェイスにIPv4アドレスとIPv6アドレスを設定する
  + インターフェイスに説明を追加する

■ スイッチの基本設定（一部のみ行う）

* + 名前を付ける（S0）
  + IPv4アドレスをVLAN 1に設定する
  + IPv4デフォルトゲートウェイを設定する

■ PCの設定と接続確認

* PCの設定
  + IPv4アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定する
  + IPv6アドレス、プレフィックス長、デフォルトゲートウェイを設定する
* PCから接続確認
  + ルータにIPv4、IPv6でそれぞれpingを行う（どちらのインターフェイスにも）
  + スイッチにIPv4でpingを行う
  + ルータにIPv4でtelnet接続を行う
* スイッチから接続確認
  + ルータにIPv4でpingを行う（どちらのインターフェイスにも）

■ 提出物

* PacketTracerの場合：ファイル名を「復習1-1設定\_クラス番号氏名」にしたpktファイルを提出
* 実機の場合：ルータのshow runのコピー（Routerクラス番号氏名.txt）とスイッチのshow runのコピー（Switchクラス番号氏名.txt）を提出

■ （実機の場合）実習後はPCの設定を元に戻すこと（IPv4、IPv6とも）